



著者プロフィール

今井 聖(いまい・せい)

1950年、新潟県に生まれ鳥取県に育つ。71年、加藤楸邨に師事。85年「寒雷」同人（後に退会）。結社賞である「寒雷集賞」、「清山賞」（同人賞）を受賞。96年に俳誌「街」を創刊。著書に『ライク・ア・ローリングストーン・俳句少年漂流記』（岩波書店）、岩波ジュニア新書『部活で俳句』など。句集『北限』『谷間の家具』『バーベルに月乗せて』。現在、信濃毎日新聞「信毎俳壇」、東京新聞「かながわ俳壇」選者。93年より句作と並行してシナリオを脚本家馬場當に師事。山内久氏、新藤兼人氏らとの知遇を得る。脚本家として参加した作品に映画『エイジアン・ブルー 浮島丸サコン』などがある。俳人協会理事。日本シナリオ作家協会会員。

<評論『言葉となればもう古しー加藤楸邨論』より転載>
<2017年10月25日時点>